平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を詳細に分析 した「北海道版結果報告書」が公表されましたので、当町の小中学校 における調査結果についてお知らせします。





平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

文部科学省では、全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的に「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を実施しております。 当町におきましても、小学校5年生・中学校2年生を対象に実施しましたので結果を報告します。

1 調査の実施時期

平成30年4月~7月末日

2 調査の対象児童・生徒数(小学校2校・中学校1校)

学校第5学年 男子 18名 女子 30名

合計 48 名

中学校第2学年 男子 23名 女子 20名

合計 43 名

3 調查内容

(1) 実技に関する調査

小学校調査 (8種目)	握力・上体起こし・長座体前屈 反復横とび・20 mシャトルラン 50 m走・立ち幅とび・ソフトボール投げ
	握力・上体起こし・長座体前屈 反復横とび、20 mシャトルラン 持久走・50 m走・立ち幅とび ハンドボール投げ ※中学校は持久走または20 mシャトル ランのどちらかを選択

- (2) 運動習慣、生活習慣などに関する児童・生徒 向け質問紙調査
- (3) 子どもの体力向上に係る学校の取り組みなど に関する学校・教育委員会向け質問紙調査

4 調査結果

- 実技調査における8種目の総体を示す体力合計点については、小学5年生男子が全国平均と「同様」、女子
- が「ほぼ同様(上位)」であり、中学2年生については、
- 男子が全国平均と「同様」、女子が全国より「やや高い」結果でありました。

町教育委員会では、平成30年度に実施した調査の結果を基に、今後の体力向上施策の充実と各学校の体育・健康などに関する指導の改善・充実に向けて取り組みを進めるとともに、保護者の方や町民の皆さんに子どもたちの健康や体力に関心を持ってもらい、子どもの体力向上に向けてご協力いただくため、調査結果及び分析結果を公表します。

なお、本調査により測定できるのは、体力の特定の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。



新冠町の体力向上に向けての取り組み

当町では、体力向上に向けて以下の取り組みを進めております。

- 1 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実技結果における上位市町村の取り組みの導入
- 2 全国体力・運動能力、運動習慣等調査及び実技結果に基づく検証改善サイクルの確立
- 3 体力向上に向けた認定こども園、小・中学校における縄跳びを活用した取り組みの実施
- 4 マラソンなどの1校1実践の取り組みの充実

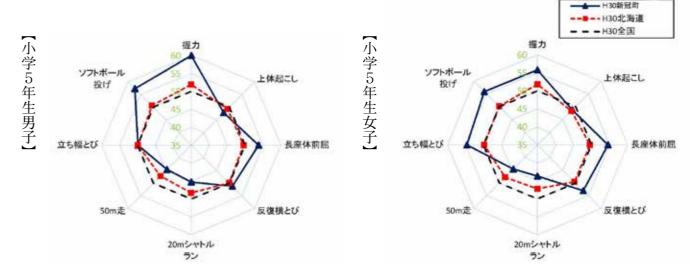


実技調査結果

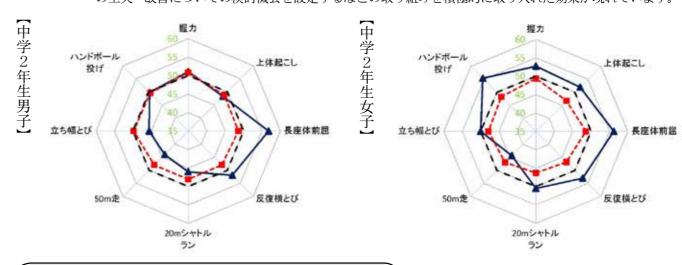
全国を 50 としたときの数値 (T得点) をレーダーチャートで表示

【小学校】

男子は「握力・長座体前屈・反復横とび・ソフトボール投げ」の4種目で、女子は「握力・長座体前屈・反復横とび・立ち幅とび・ソフトボール投げ」の5種目で、全国を上回っています。新冠・朝日小学校ともに、体育授業の目標を児童に示す活動や、教員同士での取り組み、指導方法の工夫・改善についての検討機会を設定するなどの取り組みを積極的に取り入れた効果が現れています。



【中学校】 男子は「握力・長座体前屈・反復横とび」の3種目で、女子は「握力・上体起こし・長座体前屈・ 反復横とび・20 mシャトルラン・ハンドボール投げ」の6種目で、全国を上回っています。 学校が、運動・スポーツが苦手な生徒向け・性別に応じた取り組みや、教員同士での取り組み、指導方法 の工夫・改善についての検討機会を設定するなどの取り組みを積極的に取り入れた効果が現れています。



新冠中学校の体力向上の取り組み

実技調査の結果が特に良かった新冠中学校の体力向上の取り組みをご紹介致します。

新冠中学校では、運動の習慣化や体力向上、部活動における冬季間の室内トレーニングに縄跳びを取り入れるため、縄跳びのスペシャリストを招き「縄跳び実技講演会」を実施しました。

縄跳び運動を継続することは、全身持久力、敏捷性、跳躍力などの体力・ 運動能力に影響し、持久力や下肢筋力を高める効果があると考えられます。 楽しく簡単にできる縄跳び運動を体育授業の一部や部活動でのウォーミ ングアップなどに取り入れ、体力向上の意識の啓発に努めています。



●問い合わせ先:教育委員会管理課 管理グループ ☎0146・47・2547

P8 広報にいかっぷ 2019.3 P7